

新建 ちば

2019/9
No.267

新建築家技術者集団 千葉支部機関紙



番外：万博記念公園 太陽の塔（大阪府）

千葉県の話ではないですが、昨年から内部の見学ができるようになった、大阪府吹田市にある太陽の塔の見学行ってきたので書こうと思います。

万博記念公園の中央口を通過すると正面に太陽の塔がそびえ立っています。そこからぐるりと裏側に回ると塔内部に入る入口があります。受付をして奥に進むと地底の太陽の展示があり、そこでしばらく待機して、いよいよメインの展示ゾーンへ。生命の樹と呼ばれる巨大なオブジェが地上から上部へ伸びています。枝にはたくさんの動物が配置されていて足元にはアメーバなどの原生類が、そして上へいくにつれて哺乳類へと進化していきます。塔内壁面には音を反射吸収させる



素材が敷き詰められており、当時と同じ BGM が流され、空間全体を演出しています。見学者は大阪万博の時と同様に上部へ上ることができますが、当時はエスカレーターだったものが今は階段に改修されています。私は9ヶ月の息子を連れていたので階段は使用できず、改修時に新設されたエレベーターで中層階と最上階に降りて見学する



ことができました。最上階がちょうど腕の高さぐらい。ご存知の通り、当時は塔の右腕にエスカレーターが設置されており、外部の大屋根に渡ることができました。

これが自分が生まれる前にデザインされたものなのかという驚きと独特な世界観に圧倒されたまま見学終了。好きとか嫌いとかはなく、とにかく強烈なインパクトがありました。

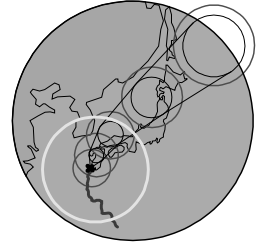
次は5歳の長男を連れて階段を上ってみたいと思います(4歳以上は階段可)。先入観の無い彼はどんな反応をするのか見てみたいです。(文・写真 三谷 恵)

新建

ちば

2019年9月号

No.267



*** 目次 ***

- ・目次・企画予定表 2
- ・ブラジリア訪問記 1 3
 - 宇野 武夫
- ・鎌ヶ谷駅東口駅前プロジェクト見学会報告 6
 - 泉 宏佳
- ・世界まち歩き13オーストリア・インスブルグ 9
 - 高山 登
- ・新入会員紹介 11
 - 佐藤 美弥
- ・事務局だより 12

企画予定表

月	支部企画 住まいづくり研究会	その他企画	全国・近県支部 その他企画	その他
9月	26(木)ブラジル建築紀行・宇野	15(日)竹村文庫	14(土)15(日)全国幹事会	12(木)18:30~支部幹事会+交流会
10月				10(木)18:30支部幹事会+交流会
11月			16(土)~18(月)全国大会in千葉	14(木)18:30~支部幹事会+交流会
12月	総会・忘年会			
1月	9(木)新年会			9(木)19:00~支部幹事会+新年会
2月				13(木)19:00~支部幹事会+交流会
3月				12(木)19:00~支部幹事会+新年会
4月				9(木)19:00~支部幹事会+交流会
5月				14(木)19:00~支部幹事会+新年会
6月				11(木)19:00~支部幹事会+交流会
7月				9(木)19:00~支部幹事会+新年会
8月				

ブラジリア 訪問記 宇野武夫

新建ちばの皆さん、オスカーニーマイヤーの建築を見る機会に恵まれたので報告します。

2月9日土曜日現地時間8時半。ブラジリア空港に到着。英語通訳の案内人と運転手が待っていた。外気は熱く冷房の効いた車で同行の麓氏と共に市内に向かう。

最初に見たアパート群の一角にある小さな教会は、オスカーニーマイヤーの初期の建築で、屋根のカテナリー曲面が美しい。ファティマの聖母教会といわれるこの教会は、クビチェック大統領の妻により建てられたそうである。外壁の青いタイルがとても印象的である。



ファティマの聖母教会

教会の周囲には、きれいに管理されたアパートがあり、ピロテイ、プリーズソレイユ等コルビジェの作品と間違えるような感じが脳に浮かぶ建築である。

陸軍本部の建築は、広い軍事パレード用の広場を兼ねた道路に面してヘンリームアーの彫刻のような大きなアーチ形屋根のステージが印象的な建築である。この前の道路は、戦闘機の滑走路にも使用できるように設計されているようであり、両側にはパレードの観覧席がある。ステージ右側に演台があり奥の事務棟とは地下通路で結ばれている。



陸軍本部前にある彫刻のような建築

クビチェック大統領記念館はブラジリアの飛行機型の中央の軸線上にあり、周囲に水面をたたえた地下記念館である。アプローチは水面の中央にある階段を下り入館する。正面の搭上に片腕を上げ三権広場を望むクビチェック大統領の像が見える。



クビチェック大統領記念館

国会議事堂は、よく写真で見えていたが実際に見ても彫刻的な静けさがあり美しい建築である。中央の2本の棟が議会事務棟、左が上院、右が下院議事堂、奥に国旗塔が見える。お椀を逆さにしたようなドームの床板は左右の道路と同レベルに計画され、板下の事務空間は、前後に水盤を作り緩いスロープの芝生でつないでいる。大統領記念館からの視線を基に、

都市計画家・建築家ルシオ・コスタの配置計画によるものであり、建築家オスカーニーマイヤーの天才的な才能による見事な子弟の共同作品である。内部は無料の見学ツアーで上、下院議場、会議室などがみられる。



国会議事堂



国会議事堂 内部見学ツアー

ブラジルは、ポルトガルの縁が深く優れた技術を持つ石工がいたようで、床は黒い大理石、壁は白大理石がきれいに張られている。外壁にも近くから見ると白い大理石がきれいに張られている。どこかはがれていないかと、職業柄探すと、一部目立たない所に剥れている場所があり、張り付け方がわかると同時に、ブラジリアの懐具合や世界遺産の管理の大変さ等が脳に浮かんだ。



国会議事堂 上院議場内部



国会議事堂 下院議場内部

最高裁判所は、床を地上から浮かせ、水平に伸びた屋根版は両脇の細い柱でピン接合の支点により支持されているとても軽快な建築である。地震国の日本の建築家にはとても考えられない建築である。建築と大地の接点が今回の興味の対象であったが、ハイヒールの足のような柱の接点は、とても緊張感があり細く小さく軽快である。よく見ると、床版を軽快に見せるためにテーパのついた床版を採用するなど構造技術者の工夫が感じられる。**大統領府**は、三権広場から道路越しの場所にあり最高裁判所と同じ細い柱で支えられた床版と屋根を持つ軽快な建築である。



最高裁判所 左手前に「目隠し裁判の像」が見える



ニテロイ現代美術館

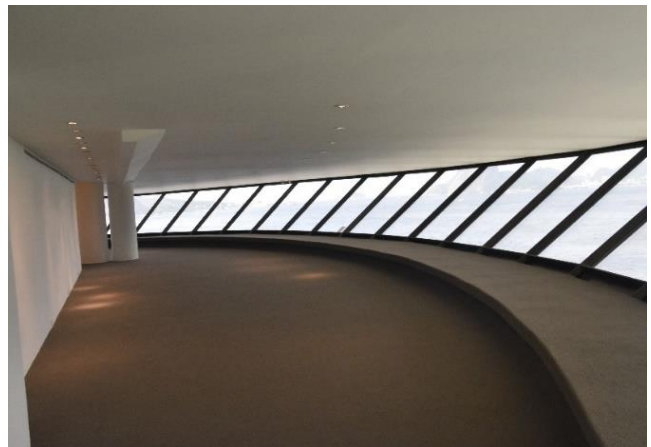


大統領府 三権広場にある彫刻「二人の戦士」越しに見る



崖の上の美術館

リオデジャネイロの隣街にある、**ニテロイ現代美術館**は、まさに天才オスカーニーマイヤーである。空中に浮かぶ建築はユーホーと地元では呼ばれているようである。とても美しいと思うが構造はわからない。外部のスロープを上り展示室に入ると大きな四本の柱に囲まれた中央に展示室があり、周囲に展望展示室がある。その上にらせん階段で上ると、窓のない展示室がぐるりと回っている。展示室かららせん階段で降りると男女のトイレと管理室になっていた。中央の括れた部分は不明。外部階段で地下に降りると水平に細い窓のある広いレストランがあり、これだけの地上構造を支える地下構造があり安心した。



展示室内部360度見える

以上、駆け足で紹介したが興味のある方は「ニーマイヤー104歳の最終講義」(平凡社)にコルビジェやカストロ等の事が書かれています。

鎌ヶ谷駅東口駅前プロジェクト見学会 <報告>

地権者主体のNPO法人による官民施設の一体管理・運営について

説明者；NPO法人 KAOの会 副理事長 原 拓也氏

見学会企画；日本建築学会関東支部専門委員会 高山 登氏

いつも高山さんには見学会企画や企画情報の連絡でお世話になっているが、今回は、高山さんのもう一つの顔である、日本建築学会の見学会に参加してきた。見学会は表題の通りだが、テーマは「エリアマネジメント」。内閣府「地方創生まちづくりーエリアマネジメントー」には、その定義として「地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組」とされている。僕の記憶では、東京駅前地区が「大手町・丸の内・有楽町」地域として指定され、活動している事ぐらいしか知らなかったが、指定された地区は、商業や業務地区だけではなく、街の防犯・防災地域づくり、公共施設の整備・管理など多様な活動を含んでいることが分かった。

さて、当日5月22日は好天に恵まれ、鎌ヶ谷駅に降り立つと、広場を挟んで、直ぐ真向かいのマンション1階に「NPO法人 KAO (カオ) の会」の看板があった。すでに三々五々、参加者は集まっており、僕は最後の来場者だった。当日の参加者は13名だが、高山さんからの報告によると、大学教官5名、役所2名、まちづくり系4名、民間業者2名の計13名。関心の広がりが見える。



1985 区画整理事業区域 (広場は左端)



2006 鎌ヶ谷駅東口 駅前広場

報告は副理事長で事務局長でもある原さんだが、実は彼はプロジェクトをまとめた、株式会社 シグマ開発計画研究所の役員でもあるのだ。資料によると、第1回駅前まちづくり懇談会が開かれたのは1997年1月だから約10年の歳月がかかっている。事業手法は区画整理事業だが、駅前に集約した権利者の話し合いをまとめ、テナント誘致も含めた駅前ビルの開発構想を練り上げ、さらにその後のビル運営や駅前広場の管理・活用計画まで担うのがエリアマネジメントだ。これは従来の開発コンサルタントの仕事からは、大きく一步を踏み出すもの。僕の乏しい経験では、コンサルタントはプロジェクトをまとめ、施設建築物が完成すると、

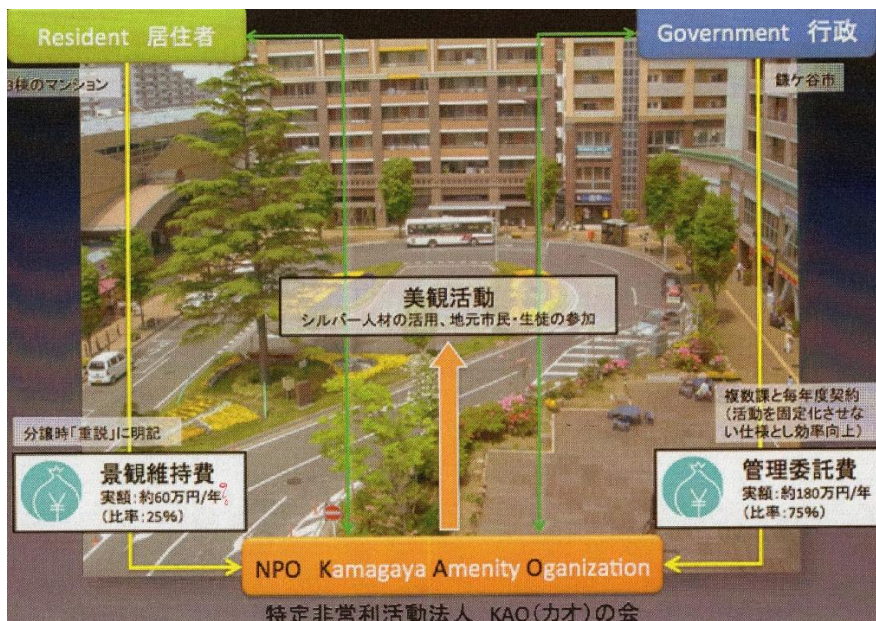
一丁上がりと去っていくのが一般的だった。中には、いわゆる市民会館などのホールが完成した後の、活用団体などを組織し、育成するなど、利用方法まで準備するコンサルもあったが、それはごく一部で、多くの公共団体で、立派なホールはできたが年間稼働率は50%などというところも多かった。 エリアマネジメントの主な業務は、再開発事業でいう管理組合業務に近い。広場や共有部分の管理運営を、公共団体やテナント、さらに居住者からも委託を受け、広場や共有部分への関心を持たせ、当事者意識を喚起するところがポイントだ。計画的には、駅前広場の一部に大きくデッキを張り出し、椅子やテーブルを置いて、住民主体のイベント会場などのへ設えを持たせ、また、KAOの会の事務所は広場の中心に面して、主人公であると睨みを利かせている。経営的には、年間収支は800万ほどだが、この中から150万を捻出して、イベントなどに回している。KAOの会のパンフには、空間整備指針のコンセプトに「市民の庭」とあり、官民施設を一体管理する組織の設立、となっていたが、実にきめ細かく配慮された、優れたプロジェクトという印象を持った。 (泉記)



デッキでのイベント、地元高校生の演奏会？



KAO (カオ) の会 事務所



図はすべて、「NPO法人 KAOの会」見学会資料 から引用

1. オーストリア インスブルグ

インスブルグ

インスブルグは人口12万7000人。1964年、1976年の2度冬季オリンピックの開催地になった。標高2000mを超えるアルプスの山々に囲まれ、チロル州の州都。この町は、12世紀にイン川の橋のたもとの集落から始まり15世紀末、この町を愛したマクシミリアン1世の統治下で発展した。歩行者天国の旧市街には、中世の古い建物が多く残る。

写真①は高さ51mの「市の塔」の展望台（地上33m）より見る街並み。後方の残雪をいただくノルトケッテ山塊の山々を背景とし、眼下に見るこの町の景観は圧巻。新緑の大きな木々が混在した、赤瓦の旧市街の町並みは実に美しい。まち歩きしていても、路面は清潔で極めて心地よい。早朝には、清掃車が散水しながら路面をブラッシングしているのだ。

このようにインスブルグの魅力は、なんとといっても2000m級の山々を背景として歴史的建造物が多く残る旧市街は、世界に誇れるチロル地方を代表する景観である。世界遺産に登録されてないのが、不思議であった。

以下、旧市街を中心に見所を紹介する。

写真①旧市街の眺望



写真②マリア・テレジア通り



■マリア・テレジア通り

かつては城壁に囲まれた400m四方が旧市街で、このエリアに中世の建物が数多く残る。旧市街に向かって南からこの町の目抜き通りであるマリア・テレジア通りが結ばれ、その周辺を新市街が取り囲む。写真②はこの通りから旧市街方面を見たもの。残雪のノルトケッテの山々を背景としたこの町並みの景観は、ザルツブルクを代表する雄大な景観だ。インスブルグは盆地で、どの通りからもアルプスの山々が望まれ、パステルカラーの中世の街並み、その自然とのコントラストが実に美しい。右の塔はアンナ（聖母マリアの母）記念柱で、スペイン継承戦争中、聖アンナの日にこの町を侵略してきたバイエルン軍を撃墜した記念に建てられた。中央のドーム屋根のある塔は旧市庁舎に付随して造られた「市の塔」で、写真①はこの塔の展望室より撮ったもの。

■ヘルツォーク・フリードリッヒ通り

この通りは15世紀の建物も多く残る最も古い中心地区、旧市街のメインストリート。カフェやレストラン、土産物屋などが並ぶ。両側には、ゴシック様式の建物が続き、1階はこの地方独特のアーケードになっている（写真③）。この通りを更に奥へ進むと街のシンボル・黄金の小屋根のある張り出し窓が見えてくる。この建物は元チロル領主の住居で、張り出し窓は15世紀後半マクシミリアン1世が広場の行事を見るために造らせた。また、“エルカー”と呼ばれる出窓が連なる建物が印象的である。（写真④）

写真③ヘルツォーク・フリードリッヒ通り



写真④中央奥がまちのシンボル黄金の屋根



■大聖堂・聖ヤコブ寺院

18世紀に造られたバロック装飾がまばゆい内陣は、漆喰彫刻とフレスコ画で壁から天井まで埋め尽くす。チロル地方のローマカトリック総本山の寺院で、天井の華麗なフレスコ画はバロックの巨匠アザム兄弟の作品。中央にあるのは、チロルで最も美しいというパイプオルガン。それにしても豪華な漆喰彫刻の数々、どのようにして造ったのだろうか。

写真⑤聖ヤコブ寺院の内観祭壇側から後方を見る。



■ホテル「コルデナー・アドラー」

この建物はなんと 1390 年創業で、インスブルック最古の宿。入り口の脇には大理石のプレートに、宿泊者としてモーツァルトやゲーテなど多くの著名人の名が刻まれている。1階にあるレストラン「ゲーテ・シュトゥーベ」は14世紀の建物ということで内観が気に入り、店内でディナーをとることにした（写真⑥）。低いヴォールト天井構造の内観は、きれいに漆喰でリモデリングされており、期待した外観のような臨場感はなく残念であった。

写真⑥ホテル「コルデナー・アドラー」



■中心地区の路地

ヨーロッパ中世都市の街歩きの魅力は、共通して路地にある。中心地区はどここの国も歩行者天国で安心して歩け、数百年の時を経た建物とその間の石畳の散策は最も魅力的。

写真⑦は中心地区から王宮へと繋ぐ路地。中ほど左にチロル地方名物の燻製風生ハムのスペック専門店がある。スペックとは生ハムとはまた違った、独特の香りと旨み、食感が特徴的。少し引き締まった固さがあり、薄く削いで噛みしめると、旨味と香りが滲み出て、赤ワインのつまみには最高。ここでランチセットをいただいた。

写真⑦「黄金の小屋根」から王宮へと繋ぐ路地



写真⑧鹿肉も入ったスペックの盛り合わせ



😊😊新入会員紹介😊😊

佐藤美弥

このたび新建築家技術者集団千葉支部の会員になりました佐藤美弥です。1979年に秋田県に生まれ、大学入学を機に首都圏に住むことになり、現在は埼玉県蕨市に住んでいます。歴史学（日本近現代史）を学び、一橋大学大学院社会学研究科特任講師、埼玉県立歴史と民俗の博物館学芸員を経て、現在埼玉県立文書館に学芸員として勤務しています。

埼玉県立歴史と民俗の博物館では、2015年1月から3月まで開催した「埼玉の自由民権」など歴史分野の展覧会の企画などを担当しました。埼玉県立文書館は公文書や古文書を保存・活用する機関で、こちらでは収蔵する公文書や古文書などの文書を解読し、刊行する事業や、展示企画等を担当しています。

歴史学を専門とし、埼玉県に住む私になぜ、新建に入会したのだろうかと思われる方もいらっしゃるかもしれません。私が千葉支部を知ったきっかけは、研究テーマとして創宇社建築会（創宇社）を選んだことに関係します。創宇社は1923年の関東大震災後に逓信省（郵便など通信を管掌する役所）の営繕部門に製図工や現場監督として勤務した若い建築家が結成したグループです。彼らは震災後の東京を舞台に理想とする建築を展示する展覧会などの運動を展開しました。

戦前期の都市のなかで創造的な文化的活動を展開した創宇社に興味を持ち、調べ始めたところ、創宇社に参加した竹村新太郎が収集、作成、保存してきた創宇社や建築運動に関する資料が、幕張の竹村氏の自宅に竹村文庫として残されていることを知りました。2003年頃に初めて伺い、それから何年かおきにですが、資料調査をお許しいただきました。その調査の際に、竹村新太郎のご息や竹村文庫の活動をリードされてきた千葉支部の鈴木進さんに大変親切にご対応いただきました。

2010年に創宇社をテーマとした博士論文を提出することができ、千葉支部のイベントでその内容についてお話したことをきっかけに、現在まで2か月に1回ほどの会合を続けています。この間、『建まち』本誌に「創宇社建築会の時代 一竹村文庫からひもとく建築運動」を連載し、また一昨年には、約20年ぶりに『竹村文庫だより』11を刊行しました。また竹村さんが残した資料を将来にわたって保存するために、整理作業を進めています。

今年は、竹村文庫の資料を紹介するパネル展示の企画も考えています。資料整理も引き続き行っていきたく思いますので、ぜひご興味がありましたら、ご参加いただければと思っています。

それではご指導のほど、よろしくお願いいたします。



2010年12月19日撮影

○支部幹事会＋交流会のご案内

毎月第2木曜日は交流会。夜七時からアトリエ結にて。
※参加の連絡：メールなどにて事務局までください。

○新建ちば塾

日時 場所：9月26日(木)PM6:30 アトリエ結にて
講師：宇野武夫
テーマ：「ブラジル紀行」

○中部ブロック 建まちセミナー2019 IN 佐渡

日時：9月28日(土) 29日(日)
会場：新潟県佐渡市宿根木78-1 「花の木」
宿泊：新潟県佐渡市小木町1494-6 「おぎの湯」

○第32回全国大会2019 IN 千葉

日時：11月16日(土) 17日(日) 見学会18(月)

会場：和洋女子大学東館

記念講演：

「創宇社建築会と建築運動の出発」 講師：佐藤美弥

「西山卯三と草創期の新建築家技術者集団・断片」 講師：中島明子

以上お問い合わせは事務局まで。

事務局だより

11月大会へ向けて本格的に準備にはいっています。すべての支部会員の力を結集して充実した大会としたいと思います。ご協力ください。

建まち千葉特集巻頭岡部中島対談9月16日行われました。(加瀬澤)

○会計より 過去年度会費を未納の方は、下記口座まで最寄りの銀行よりお振込み下さい。

振込先：千葉銀行みつわ台支店口座番号：普通 3211569 名称：新建築家技術者集団千葉支部

新建千葉支部事務局：株式会社 ゆま空間設計

TEL:043-253-8801 FAX:043-253-8806

千葉市若葉区みつわ台5-4-14

E-mail: office@yumaku-kan.co.jp

新建千葉支部ホームページ : <http://www5e.biglobe.ne.jp/~shinken/chiba/>

発行：千葉支部幹事会
編集：千葉支部幹事会
編集ワーク：中安博司

編集後記

台風15号が9日未明に千葉市付近に上陸し、県内各地に被害をもたらしました。特に南房総地域の被害は甚大で、未だ停電、断水が続いています。皆様の状況はいかがでしょう？(中安)